

平成 27 年度 全国私立中学高等学校 私学経営研修会

実施案内

《主催》一般財団法人私学研修福祉会 《協力》一般財団法人日本私学教育研究所
《後援》山形県・山形市・山形県私立中学高等学校協会・日本私立中学高等学校連合会

研究のねらい

私学振興と教育の未来

～私立学校振興助成法 40 年 新時代の経営を探る～

教育界はグローバル化等社会の変化に翻弄され、高大接続改革、小中一貫教育校制度化、学習指導要領全面改訂、英語教育強化など数々の改革構想が比類なき速度で進められようとしている。その矢面に立つ私立中学校・高等学校は、少子化と公立学校の私学化、財政的制約の中で、生徒募集・経営面でより厳しい状況に置かれている。折しも憲法改正に係る議論では、政府・与党等関係者は私学助成に関連する第 89 条の見直しに言及している。

2015 年(平成 27 年)は、国の私学助成制度の根拠を定めた【私立学校振興助成法】成立から 40 年に当たる。

同法制定へと動き出すきっかけとなったのは、1972 年(昭和 47 年)に山形県米沢市で実施された当研究所主催「全国私立中学高等学校理事長・校長研修会」での討論であった。

奇しくも同法が生まれて 40 年目の今年、私立学校の先達が幾多の苦難を乗り越えて結実させた同法発祥の地・山形県で当研修会が行われる。全国の私学人が、思いを新たにこの地に集い、私学振興史上画期的な措置となった同法の原点と法制定の精神を顧みると共に、私学助成制度の意義と今後のあり方を再考し、高等学校等就学支援金制度に続く私立義務教育学校生徒等への公的支援制度の実現を目指して結束を強め、教育環境・経営改善に向けて進むことが期待される。

今年度の研修会は「私学振興と教育の未来」を研究のねらいに、山形県を代表するレストランのオーナーシェフを迎えての講演、中央からの最新情勢報告、地方私学による報告、パネルに加えて、参加者が各校の現状と課題を共有し、打開策のヒントを求めてグループ討議形式で意見交換と懇談を行う。併せて、生徒一人ひとりを大切に育む山形県の伝統ある私立学校を視察する。

当研修会が、私学の自主性・独自性を担保するべく私学振興と教育を見つめ直し、子どもたちと私立学校、日本の明日へとつながる新たな時代の経営・教育方策を探る好機となれば幸いである。

会 期 平成 27 年 6 月 4 日(木)～5 日(金)の 2 日間

会 場 山形県 山形市 ホテルメトロポリタン山形 【山形新幹線山形駅直結】

募集人員 120 名

参加対象 理事長、校長、副校長・教頭、事務長またはこれらに準ずる管理職の方

基調講演 演題 「食からはじまる地域づくり」

講師 奥田政行 アル・ケッチャーノ オーナーシェフ

《講師プロフィール》

奥田 政行 (おくだ まさゆき)

1969 (昭和 44) 年山形県鶴岡市生まれ。学校法人齋藤学園鶴岡東高等学校卒業後、上京しイタリア料理、フランス料理、純フランス菓子、イタリアンジェラートを修行。帰郷後、2 つの店で料理長を歴任し、2000 (平成 12) 年在来野菜など旬の地元産こだわり食材を使った店「アル・ケッチャーノ」を独立開業し、地元食材にこだわり生産者の顔の見えるメニューを提供中。2004 (平成 16) 年には山形県庄内総合支庁より「食の都庄内」親善大使に任命され、地元食材を使用し生産者と育み合う関係をつくってきた功績が認められ、2010 (平成 22) 年には農林水産省より料理マスタース ブロンズ賞を受賞。世界の料理人 1,000 人に選ばれるなど日本国内のみならず、世界を舞台に山形県庄内の食材を広めるべく、多忙な日々を送っている。

基本日程

※プログラム・内容は今後変更となる場合があります。

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	30	30	30	45	30	15	15	45	15	45	30	30
6/4 (木)	受付	開会式	講演	基調講演	昼食	報告 中高連	山形県 日私教研		パネル・ ディスカッション		教育懇談会	
6/5 (金)		意見交換会		分科会 (グループ討議)	全体会	昼食	視察校へ	学校視察 山形学院高等学校 (山形市)				

～ 平成 27(2015)年 ～
《私立学校振興助成法》成立から 40 年
同法制定のゆかりの地・山形で開かれる第 60 回私学経営研修会では
日本の教育の未来と私学の振興策を探求します

今年の私学経営研修会は
 数々の名峰や歴史ある山寺など四季折々の豊かな自然に恵まれた
 山形県・山形市のくホテルメトロポリタン山形を会場に開催いたします。
 山形県での私学経営研修会は、昭和 47 年(1972)年の開催以来、実に 43 年振りとなります。
 研修会の開催をご快諾下さった山形県の私立学校と関係の皆様に対して心よりお礼申し上げます。

思い起こせば、この私学経営研修会の前身に当たる
 「第 17 回全国私立中学高等学校 理事長・校長研修会」は、
 山形県米沢市・米沢女子高等学校(現:九里学園高等学校)において
 昭和 47 年 10 月 19 日～21 日に開催されました。
 約 200 名の私立中学高等学校の先達が全国から集ったこの時の研修会において、
 《私立学校振興助成法》制定の実現へとつながる画期的な建議が行われたのです。

同法成立から 40 年となる節目の年に、再び山形で開かれる私学経営研修会は、
 《私学振興と教育の未来》をともに考える好機となることでしょう。
 日本の教育をリードし、21 世紀に生きる子どもたちを育む
 私立中学高等学校の代表者たちが、当研修会を通して
 今を生きる私学人が直面する現状と課題、経験・情報を共有することで
 各地の私立学校をサポートできれば幸いです。

研修会プログラムでは世界で活躍する“おいしい山形”出身のオーナーシェフによる講演、
 中央と山形県私学関係者による情勢・取組報告、パネルや参加者によるグループ討議等のほか、
 山形県私立中学高等学校協会からの全面的なご支援ご協力を得て、
 山形学院高等学校の視察コースを用意しています。
 全国から多くの私立学校の先生方には、思い新たに
 ぜひ山形市にお運び下さるよう心よりお願い申し上げます。

一般財団法人日本私学教育研究所
私学経営専門委員長 實吉 幹夫

☆ 研修会日程・プログラム

※プログラム・内容は変更となる場合があります。

【1日目】6月4日(木)

《研修会会場》ホテルメトロポリタン山形4階「霞城(A・C)」

【司会・講師紹介等】川本芳久 一般財団法人日本私学教育研究所事務局長代行

08:30-09:00	受付
09:00-09:30	開会式 ◆主催者代表挨拶 吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所理事長 ◆開催県代表挨拶 石原 弘 山形県私立中学高等学校協会会長 ◆来賓祝辞 吉村 美栄子 山形県知事(臨席予定) ◆来賓祝辞 市川 昭 男 山形市長(臨席予定) ◆来賓祝辞 遠藤 利 明 衆議院議員(臨席予定) ◆役員・専門委員紹介 (正副理事長、私学経営・教育制度専門委員等) ◆研修会運営方針説明 實吉 幹 夫 一般財団法人日本私学教育研究所副理事長
09:30-10:30	講演 ◆演 題 「教育政策と私学振興」～私学助成制度を中心に～ ◆講 師 吉田 晋 日本私立中学高等学校連合会会長 一般財団法人日本私学教育研究所理事長
10:45-12:15	基調講演 ◆演 題 「食からはじまる地域づくり」 ◆講 師 奥田 政行 アル・ケッチャーノ オーナーシェフ
12:15-13:00	《昼食》
13:00-13:45	報告Ⅰ ◆テーマ 「教育改革と私学振興への思い」 ～私立学校振興助成法制定の精神に立ち返って～ ◆報告者 實吉 幹 夫 日本私立中学高等学校連合会教育制度委員長 一般財団法人日本私学教育研究所副理事長
13:45-14:15	報告Ⅱ ◆テーマ 「山形県の私学の現状と課題」 ◆報告者 椎名 憲 次 山形県総務部学事文書課課長
14:15-14:45	報告Ⅲ ◆テーマ 「新たな時代の教育と教員の使命」 ◆報告者 中川 武 夫 一般財団法人日本私学教育研究所所長 《ロゼブレイク》
15:00-17:30	パネル・ディスカッション ◆テーマ 「私学振興と教育の未来」～私立学校振興助成法40年 新時代の経営を探る～ ◆パネリスト 今井 榮 喜 山形県私学振興議員連盟世話人代表 石原 弘 迪 学校法人明正学園理事長 木内 秀 樹 東京成徳大学中学高等学校理事長・校長 野原 明 教育ジャーナリスト ◆コーディネーター 鈴木 康 之 水戸女子高等学校理事長・校長
18:00-19:30	教育懇談会 《会場》同ホテル4階「霞城B」 ※着席形式(2日目意見交換会グループ毎に交流) 1. 開会 2. 主催者挨拶 山中 幸 平 一般財団法人日本私学教育研究所副理事長 3. 来賓挨拶 遠藤 利 明 衆議院議員(臨席予定) 山形県/山形市関係者 4. 乾杯 九里 廣 志 山形県私立中学高等学校協会副会長 ～懇談～ 5. 次年度開催県代表挨拶 滋賀県私立中学高等学校代表者 6. 閉会 ※円卓・着席形式。各グループ(1卓約10名)は、2日目の意見交換会(グループ討議)の希望 テーマ(参加申込書に記載し参加者が第2希望まで選択)に基づいてメンバー分けします。 ※私学経営・教育制度専門委員、日私教研・中高連役員等が各卓の「世話役」として自己紹介 から懇談・交流並びに翌日グループ討議の進行を促します。

【2日目】6月5日(金)

《研修会会場》ホテルメトロポリタン山形3階「出羽」

【司会・講師紹介等】川本芳久 一般財団法人日本私学教育研究所事務局長代行

09:00-12:00	意見交換会 (分科会 ~ 全体会) ◆テーマ 「私学振興と教育の未来」～新時代の経営を探る～ 【総合進行役】 真城義麿 一般財団法人日本私学教育研究所教育制度客員研究員 【世話役】 實吉幹夫 私学経営専門委員長 鈴木康之 私学経営副専門委員長 長塚篤夫 教育制度専門委員長 木内秀樹 私学経営専門委員 石原弘迪 私学経営臨時委員 梅村光久 教育制度専門委員 新田光之助 教育制度専門委員 野原明 教育制度客員研究員 真城義麿 教育制度客員研究員 山中幸平 副理事長 中川武夫 所長 ほか(日私教研・中高連役員等)				
09:00-11:30	1. 分科会 (グループ討議) … 重点テーマを中心に小グループで討議 重点テーマ <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>①私学振興と経営</td> </tr> <tr> <td>②新時代の教育と経営 (グローバル人材育成、高大接続改革等)</td> </tr> <tr> <td>③教職員と組織の活性化</td> </tr> <tr> <td>④私学の課題 (生徒募集、特色教育、危機管理等)</td> </tr> </table>	①私学振興と経営	②新時代の教育と経営 (グローバル人材育成、高大接続改革等)	③教職員と組織の活性化	④私学の課題 (生徒募集、特色教育、危機管理等)
①私学振興と経営					
②新時代の教育と経営 (グローバル人材育成、高大接続改革等)					
③教職員と組織の活性化					
④私学の課題 (生徒募集、特色教育、危機管理等)					
11:30-12:00	2. 全体会 (分科会報告/意見交換会)				
12:00-12:15	総括 實吉幹夫 一般財団法人日本私学教育研究所私学経営専門委員長				
12:15-13:15	《昼食》 ※ 昼食後、視察先学校へは会場ホテルから徒歩(約10分)にて移動。				
13:15-15:00	学校視察 山形学院高等学校(共学校) <山形市香澄町3-10-8> (総合普通科・情報創造科・食物調理科) ◆ 歓迎挨拶・学校概要説明 北垣俊一 理事長・校長 ◆ 校舎・授業(調理実習)見学、生徒活動紹介、学校関係者との意見交換 等				

講師・指導員 (順不同)

- 奥田政行 (アル・ケッチャーノオーナーシェフ)
- 今井榮喜 (山形県私学振興議員連盟世話人代表)
- 椎名憲次 (山形県総務部学事文書課課長)
- 石原弘迪 (学校法人明正学園理事長)
- 木内秀樹 (東京成徳大学中学高等学校理事長・校長)
- 野原明 (文化学園大学杉並中学高等学校名誉校長)
- 鈴木康之 (水戸女子高等学校理事長・校長)
- 吉田晋 (富士見丘中学高等学校理事長・校長)
- 實吉幹夫 (東京女子学園中学高等学校理事長・校長)
- 山中幸平 (学校法人山中学園理事長)
- 中川武夫 (蒲田女子高等学校顧問)

専門委員・客員研究員・指導員 (順不同)

- 實吉幹夫 (東京女子学園中学高等学校理事長・校長)
- 鈴木康之 (水戸女子高等学校理事長・校長)
- 長塚篤夫 (順天中学高等学校校長)
- 木内秀樹 (東京成徳大学中学高等学校理事長・校長)
- 石原弘迪 (学校法人明正学園理事長)
- 梅村光久 (学校法人梅村学園松阪法人本部分室長)
- 新田光之助 (筑陽学園中学高等学校理事長・高校長)
- 野原明 (文化学園大学杉並中学高等学校名誉校長)
- 真城義麿 (学校法人真宗大谷学園理事)
- 川本芳久 (一般財団法人日本私学教育研究所事務局長代行)

参加申込み方法

- 1) 申込 下記の「参加申込みの注意」をよくご覧になった上でお申し込み下さい。
- 2) 申込先 「一般財団法人日本私学教育研究所 私学経営研修会担当」宛
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷UNビル 6階
電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683
ホームページ <http://www.shigaku.or.jp/>
- 3) 申込締切日 **平成27年5月22日(金) 必着**
申込みは先着順に受け付けます。募集人員を超えた場合は期日前でも締切ることがあります。

参加費

30,000円(昼食2回、教育懇談会費、学校視察費を含む。※宿泊費別)

参加確認証

参加申込書受付後、参加確認証をご本人宛にお送り致しますので、研修会当日受付にご提示下さい。

個人情報の取扱いについて

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証及び研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要が生じた場合のみに利用いたします。

参加申込みの注意

1. 参加申込書に必要事項を記載の上、「一般財団法人日本私学教育研究所 私学経営研修会担当」宛にFAXまたは郵送でお送り下さい(申込後2週間以内に確認証が届かない場合は電話で照会下さい)。
2. 参加申込書受付後、「参加確認証」と「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」をお送りします。参加費は、必ずこの払込用紙にて、指定されたコンビニエンスストアでお振り込み下さい。なお、参加費等の領収書は「払込受領証」をもって代えさせていただきますので、大切に保管して下さい。
3. 研修会への参加申込み後の変更・取り消しについては、必ず、FAXにて日本私学教育研究所へご連絡下さい。不参加の場合、返金の精算は研修会終了後約1ヵ月かかりますので、あらかじめご承知置き下さい。なお、参加費振り込み後の場合は、事務手数料として1,000円を差し引いて返金いたしますのでご了承下さい。また、6月1日(月)15時00分以降に不参加の連絡があった場合、及び無断欠席は参加費の返金はできません。研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。※参加費未払いの場合は、キャンセル料として全額(30,000円)を申し受けますのでご注意ください。※天変地異や自然災害によるキャンセルの場合は、状況により対応致しますので、ご相談下さい。
4. 傷害保険について 研修会期間中の参加者等の傷害保険には加入致しませんのでご承知置き下さい。

宿泊のご案内

1. 宿泊の申込みについて
「A. ホテルメトロポリタン山形(研修会場)及び「B. 山形国際ホテル」のご予約を承ります。
宿泊の申込みは、「宿泊申込書」(参加申込書の下欄)に記入の上、「一般財団法人日本私学教育研究所私学経営研修会担当」宛にFAXまたは郵送でお送り下さい。
申込内容確認後、「宿泊予約確認書」(参加確認証の下欄)を送付します。
申込みは先着順で受け付けます。但し、予約可能な部屋数(特にホテルメトロポリタン山形)には限りがありますので、必ず第1希望、第2希望のホテルをご記入下さい。申込締切日(5月22日)前に満室となった場合は、その時点で締切りとなります。
※個人情報に関しては、当研修会宿泊関連の情報以外の利用は一切いたしません。

ホテル名	部屋タイプ 1名1室利用	予定 部屋数	料金	備考	チェック イン	チェック アウト
A. ホテルメトロポリタン山形 (研修会場)	シングル 6/3・4・5	35室	9,500円	1泊朝食付、税・サービス料込み ※チェックアウト時料金精算	14時	11時
	ツイン(シングルユース) 6/3・4	禁煙 10室	11,500円			
B. 山形国際ホテル (山形新幹線山形駅東口徒歩5分)	シングル 6/3・4	50室	8,640円	1泊朝食付、税・サービス料込み ※チェックイン時料金前払式	15時	10時

- ① 朝食が不要の場合でも特別料金の為、返金できませんのでご了承下さい。
 - ② 喫煙希望の方はその旨ご記入下さい。禁煙室は先着順となります(喫煙室の消臭処理となる場合があります)。
 - ③ ホテルAのツイン(シングルユース)及びホテルBは6/5(金)後泊の手配はありません。
2. 宿泊代金のお支払い方法
宿泊代金は、ホテルにて直接ご精算下さい。(ホテルによって精算方法が異なります ※上記欄備考参照)
 3. 宿泊の変更・取消しについて
必ずFAXで日本私学教育研究所へご連絡下さい。取消時期によってはキャンセル料金が発生することがあります。

【お申込み・お問合わせ先】

一般財団法人日本私学教育研究所(私学経営研修会担当)
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷UNビル6階
電話03(3222)1621 FAX03(3222)1683 URL <http://www.shigaku.or.jp/>

研修会場(ホテルメトロポリタン山形)・宿泊ホテルのご案内

【ホテルメトロポリタン山形】(研修会場・宿泊ホテル A)

〒990-0039 山形県山形市香澄町1-1-1 TEL.023-628-1111

ホームページ URL <http://yamagata.metropolitan.jp/>

◆交通案内 山形新幹線山形駅直結

山形空港から車で約35分

山形自動車道山形蔵王ICから車で約10分 *有料駐車場有

※詳細はホテルメトロポリタン山形ホームページ「アクセス」をご覧ください。

<http://yamagata.metropolitan.jp/access/>



【山形国際ホテル】(宿泊ホテル B)

〒990-0039 山形県山形市香澄町3-4-5 TEL.023-633-1313

ホームページ URL <http://www.kokusaihotel.com/>

◆交通案内 山形新幹線山形駅東口から徒歩5分

山形空港から車で約40分

山形自動車道山形蔵王ICから車で約10分 *有料駐車場有

※詳細は山形国際ホテルホームページ「アクセス」をご覧ください。

<http://www.kokusaihotel.com/access.html>

平成 27 年度私学経営研修会《視察先学校》

山形県には私立高等学校(男女共学校)が16校(全日制15校、通信制1校)あり、各学校はそれぞれの建学の精神のもと、独創性豊かな学校運営を展開している。

今回は山形県私立中学高等学校協会の全面的な協力によって、創立107年の伝統校で、キリスト教の精神を活かして一人ひとりの個性や可能性を伸ばす教育を実践している「山形学院高等学校」を訪問する。

山形学院高等学校

[理事長・校長 北垣 俊一]

山形市香澄町 3-10-8

「生徒とともに生き、学び、成長する」
～生徒一人ひとりを大切に～

☆沿革・概要

1908年(明治41年)、森谷たま女史により、裁縫伝習所として創立。1932年(昭和7年)に精華女学校、1948年(昭和23年)山形精華高等学校、1970年(昭和45年)山形女子学院高等学校、1973年(昭和48年)より現在の校名「山形学院高等学校」となり、翌年に男女共学となる。福音主義キリスト教の信仰を基に「信仰・希望・愛」を校訓として掲げ、隣人を思いやる心を持つ人間、平和を希求する人間、社会に貢献できる人間を育成している。毎朝、全校生がチャペルに集い礼拝を守り一日が始まるキリスト教学校である。

学習指導においては、基礎・基本の学力向上を目指すとともに、卒業後の進路に対応できる能力の開発を図り、生徒がそれぞれの特質を十分活かせるよう配慮し、多様な進路希望に応じて、「総合普通科」「情報創造科」「食物調理科」の三科を設置している。山形駅より徒歩7分、山形市の中心部に立地し、生徒数は849名、教員数は52名。

総合普通科は大学・短期大学・専門学校進学を目指す学科。画一的なカリキュラムによる受験教育ではなく、各生徒の将来の志望、興味、関心を加味した選択制を取り入れて進学、就職に対応。就職志望の生徒には実務的な資格検定も取得できる。3分野(系列) [①特別・進学、②福祉・保育、③社会・資格] の選択制による授業で、上級学校への進学から就職まで対応できる。

情報創造科は情報社会のプロフェッショナルを育成する学科。商業的な学科からIT主体の関連の科目に絞り、情報を創造する力を身につけさせ、検定上級資格を取得できるようにして就職に対応。時代のニーズに応えるための更なる技能習得のために上級学校へ進学もできる。

食物調理科は1972年(昭和47年)に県内初の厚生大臣指定調理師養成施設としてスタートした学科。食育を取り入れ、山形の伝統食材や料理を周知した調理師養成を目指す科として、また菓子作りの基本を学び、より質の高い調理技能を持って調理の分野での就職を可能にする。卒業時には調理師免許を取得。また管理栄養士、その他の資格取得を目指し上級学校へ進学もできる。

☆行事・部活動・課外活動

部活動は活発。多くの部が日々練習に励んでいる。ハンドベル部は、2015年で創部33年目になる。ハンドベルは、約400年前にイギリスの教会で生まれ、その音色から、天使のハーモニーと呼ばれている。通常は5オクターブ61個の楽器を14人程度で演奏し、一番小さなもので約200g、一番大きなものは約6.6kgもある。ハンドチャイムという棒状の楽器もある。東北フェスティバルや全国フェスティバルをはじめ、クリスマスコンサートなどの自主開催コンサート、老人福祉施設への慰問演奏や地区の行事に招かれての演奏、テレビなどへの出演も行っている。讃美歌を中心に演奏レパートリーは幅広く、様々なジャンルを演奏し好評を得ている。

多彩な年間行事の中でも特徴的なのが、2年次の修学旅行。シドニー(オーストラリア)・韓国・沖縄の3コースから、個々に行きたい場所を選ぶことができる。

私立学校振興助成法

国においては昭和45年度から、私立大学等に対する国の経常費補助や私立高等学校等に対しては地方交付税制度による都道府県への助成財源措置が講じられていたが、昭和40年代後半の石油ショックに端を発した物価の急騰、人件費の増大等が私立学校の経営に深刻な影響を及ぼすようになったことを背景として、私学団体等の要望を受け昭和50年7月、自由民主党国会議員による議員立法で「私立学校振興助成法」が成立した(昭和51年4月施行)。同法は、私立学校の教育条件の維持向上及び在学する児童生徒等の経済的負担の軽減を図り、私立学校の経営の健全化を図ることを目的としている。同法の制定により私立大学等に対する経常費補助が従前の予算補助から法律補助(昭和51年度以降)になるとともに、都道府県に対する国庫補助の法的根拠が明確化された。

[出典：一般財団法人日本私学教育研究所「私学振興に関するキーワード!」]

FAX 03-3222-1683

平成27年度 全国私立中学高等学校 私学経営研修会 参加申込書

平成27年__月__日

① 参加者氏名	(ふりがな)				〔 男 〕 〔 女 〕
② 学 校 名					③ 職名
	学校区分	1. 中学校 2. 高等学校 3. 中等教育学校・中高一貫校 4. 中高併設校 5. 大学付属校 A. 男子校 B. 女子校 C. 共学校 (含む男女別学校)			
④ 学 校 住 所	〒				
	TEL () ()		FAX () ()		
⑤ 参加確認証送付先 <small>※上記の参加者ご本人、または学校住所以外への送付を希望する場合にご記入ください。</small>	〒 (受取人氏名 _____)				
⑥ 参加者連絡先※	<small>※緊急の場合、確実に連絡がとれる携帯電話番号・自宅電話番号等をご記入下さい。</small>				
⑦ メールアドレス	<div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <small>※今後、当研究所からの研修会のご案内等のメール配信をご希望の方は、メールアドレス(携帯電話のメールは不可)をご記入下さい。(過去に当研究所の研修会に参加し、申込書等にご記入頂いた方は、すでに登録されておりますので、記入の必要はありません。アドレス変更の場合はご記入下さい。)</small>				

⑧ 意見交換会【6/5(金)午前】の「重点テーマ」について

※下記「重点テーマ」から第1希望、第2希望のテーマを選んで、枠内の数字に○を付けてください。

第1希望	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	第2希望	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4
------	---------------	------	---------------

☆重点テーマ(グループ討議の主テーマ)

- | | |
|---------------|---------------------------------|
| 1. 私学振興と経営 | 2. 新時代の教育と経営(グローバル人材育成、高大接続改革等) |
| 3. 教職員と組織の活性化 | 4. 私学の課題(生徒募集、特色教育、危機管理等) |

※意見交換会(グループ討議)のグループ分けの参考としますので、必ず第2希望までお選び下さい。調整の結果、必ずしも希望通りにならないこともあります。希望テーマの記入がない場合、その他の希望テーマに記入の場合、グループ分けは当方で適宜調整します。

⑨ 学校視察【6/5(金)午後】の視察コースについて ※参加の有無について該当の番号に○を付けて下さい。

1. 参加	2. 不参加	<small>※記入がない場合は不参加とさせていただきます。(参加費用は同額です)</small>
-------	--------	---

⑩ 通信欄

【宿泊申込書】

- ◇ ホテル宿泊希望の場合は、下欄の希望日に**第1希望は①、第2希望は②**と記入して下さい。
- ◇ ホテルAは部屋数が限られており、予定部屋数が終了した場合は、ホテルBとなる場合がありますので、必ず第2希望まで記入して下さい。 ◇ 喫煙室・禁煙室についてもご記入下さい。

ホテル名	宿泊日 部屋	6月3日(水) 《前泊》	6月4日(木) 《当日泊》	6月5日(金) 《後泊》	喫煙室・禁煙室 (番号を○で囲む)
A. ホテル	シングル				1. 喫煙室希望 2. 禁煙室希望
メトロポリタン山形	ツイン※ (シングルユース)			-	※禁煙室のみ
B.山形国際ホテル	シングル			-	1. 喫煙室希望 2. 禁煙室希望

※1名1室利用・1泊朝食付・税サービス料込。※ホテルAツイン(シングルユース)及びBは6/5(金)《後泊》の手配は無。

※禁煙室は**先着順**(室数が限られているため、申込時期によっては「喫煙ルームの消臭処理」となります)

※ FAXまたは郵送でお申し込み下さい。

※ 複数名の参加の場合は、本参加申込書をコピーしてご記入下さい。

受付番号	
------	--